



学び合う御船小の先生方～研究授業を紹介～

多くの学校がそうであるように、御船小でも「研究授業」をしています。子供たちの学力を向上させるために、授業を公開します。授業を見た先生方から、「なるほど、そういう問い方があったのか!」「もっとこうしたら、子供が主役の授業になるのでは?」と意見を交換します。こうして、御船小の先生方は、一人一人の授業力を高める努力をしています。今年度の「研究授業」の様子を校長室前の廊下に掲示しています。学校にお立ち寄りの際に、ご覧いただければ幸いです。

学び合う御船小の先生
三年生・理科 岡田 和輝 先生

【単元名】「ゴムや風の力」
【単元終了時の児童の姿】
「ゴムと風の力の動きについて理解するとともに、「おもちゃまつり」に生かそうとする児童。」

【本時の目標】5/11時間目
ゴムの力は、物を動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることが理解することができる。

【本時の具体的支援】**学習者用端末の活用**
・カメラ機能で実験の様子を動画撮影
・個々の考えをアプリ上にあげて交流

【本時終了時の児童の姿】
ゴムの力で、物を動かすことができることや、引き伸ばすゴムの長さを変えると、物の動く様子も変わることが理解することができました。





【岡田和輝先生】

3年生理科の研究授業を公開しました。岡田先生は、ICT機器の活用に向けた先生です。今回の授業でも、子供たちがタブレットを使って、自分の意見をまとめたり、グループで話し合ったりしました。先生方も、タブレットの活用方法など学び合いました。

学び合う御船小の先生
一年生・国語 椿 優子 先生

【単元名】「どうぶつ園のじゅうい」
【単元終了時の児童の姿】
時間を表す言葉を使い、「家族の一日の仕事」の順序や工夫がわかるようにまとめ、感想を聞こうとする児童。」

【本時の目標】1/11時間目
時間を表す言葉に着目し、短冊を並べ替え、その理由を説明することができる。

【本時の具体的支援】**段落の並べ替え**
・「はじめ」と「終わり」の段落を示し、「中」の段落を並べ替えさせることで、時間を表す言葉に着目させる。

【本時終了時の児童の姿】
時間を表す言葉に着目しながら、獣医の仕事の並べ替えることができました。





【椿優子先生】

2年生国語の研究授業を公開しました。低学年の国語では、「はじめに」「次に」「そして」「最後に」など、順序を表す言葉を使うことのよさに気づくことが大事です。教師が段落をランダムに提示したものを、順序を表す言葉を手掛かりに並べ替える手法に、多くの先生方が学びました。

【佐々木雄亮先生】

6年生国語の研究授業を公開しました。

高学年の国語では、筆者の論の進め方と表現の工夫に気づき、生かそうとすることが大事です。

表現の工夫がある本文と、表現の工夫がない教師自作の文を比較させて、工夫とその効果に気付かせる手法に多くの先生方が学びました。

六年生・国語 佐々木 雄亮 先生

【単元名】
『鳥獣戯画』を読む、日本文化を発信しよう

【単元終了時の児童の姿】
文章を読むときに、論の進め方、表現の工夫を捉えて読み、それらを活用して自分の考えを伝えようとする児童。

【本時の目標】4/11時間目
書き出しや呼びかけなど、筆者の表現の工夫を捉えることを通して、自分たちのパンフレットに生かせるような技をまとめることができる。

【本時の具体的支援】**表現の工夫の有無を比較**
・表現の工夫がある本文と、表現の工夫がない教師自作の文を比較させ、表現の工夫の効果に気づかせる。





【本時終了時の児童の姿】
読み取った筆者の表現の工夫をもとに、自分のパンフレットに使用したい技をまとめました。

【永嶺芽生先生】

1年生道徳の研究授業を公開しました。

「親切、思いやり」について考える授業でした。

登場人物の台詞の続きを想像し、比較させることで、「親切のよさ」について気付くことができるようにする授業でした。

表情豊かに授業を進める先生の指導技術に学びました。

一年生・道徳 永嶺 芽生 先生

【主題名】
「はしのうえのおおかみ（親切、思いやり）」

【目指す児童の姿】
身近な人の気持ちを考えて温かい気持ちで接することのよさを考えることができる児童。

【本時のねらい】
くまに親切にされたおおかみの変化について考える活動を通して、意地悪をしたときよりも、親切にしたときのほうがずっと気持ちが良いことを理解し、身近にいる人に親切にしようとする心情を育てる。

【本時の具体的支援】**台詞の続きを想像・比較**
二回出てくる「えへん、へん」に続く言葉を想像し、比較させることで、おおかみの変化に気づかせる。





【本時終了時の児童の姿】
親切のよさは、友だちも、自分も良い気持ちになったり、みんな笑顔になったりすることと感想を書きました。

学び合う御船小の先生方～外部講師の紹介～

「研究授業」や「授業研究会」には、できるだけ専門家をお招きして行っています。例えば、ICT教育については、熊本県教育庁教育政策課の指導主事をお招きしました。

例えば、国語については、熊本大学教育学部附属小学校の主幹教諭、熊本県立教育センター指導主事、現平成音楽大学准教授（元熊本県小学校教育研究会国語部会長）をお招きしました。

例えば、特別支援教育については、松橋西支援学校の巡回相談員をお招きし、道徳については、甲佐小学校のスーパーティーチャーをお招きしました。

こうして、質の高い「研究授業」や「授業研究会」とおして、御船小の先生方一人一人の指導力向上に努めているところです。



【附属小の溝上先生】